

# 有権者には投票用紙記入所で補助を受ける権利があります。



投票に関連する権利について  
[www.advancingjustice-aajc.org/language-rights](http://www.advancingjustice-aajc.org/language-rights)

## 自分一人で投票したくありません。投票用紙記入所に誰かを連れてきて、投票の手伝いをしてもらうことはできますか？

はい。有権者には投票用紙記入所に他の人物を連れてきて、補助を依頼する権利があります。友人、親戚、または信頼している他の人物などを一緒に連れてくることができます。ただし、有権者の上司や労働組合の代表者に補助を依頼することはできません。

## ご存知ですか？

有権者は家族や隣人（お住まいの地域で信頼できるほとんどの人物）を投票所に連れてきて、投票に関する補助を依頼することができます。



## どの法律によってこの権利が保障されていますか？

投票権法（VRA）第208条で、補助が必要な場合は投票用紙記入所に自身が選択した人物と一緒に連れてくる権利がすべての有権者にあることを定めています。

## どのような場合にこの法律が適用されますか？

有権者の第一言語が英語ではなく、英語を理解することが困難な場合は、この法律が適用されます。また、有権者が盲目であるか目がよく見えない場合、または身体に障がいがある場合、あるいは読み書きが困難な場合もこの法律が適用されます。

## 他の人物に補助を提供してもらう場合は、投票日にどのような手続きが必要ですか？

補助を提供してくれる人物と共に投票所に行きます。投票に関する補助を得るためにその人物を選択した旨を選挙管理者に伝えます。有権者が英語での会話、読み書き、理解が困難であるために、その人物に補助を依頼したという内容が記載されたフォームに記入して署名する必要がある場合があります。また、補助を提供する人物も、有権者に対して誰（何）に投票するかを指示・誘導しないことを宣誓する文書に署名する必要がある場合があります。

## 投票用紙記入所に補助者を連れていくことを選挙管理者に拒否された場合はどうすればよいですか？

選挙管理人の中にはVRA第208条に関する知識がない人もいます。投票用紙記入所に補助者を連れていくことを選挙管理者が拒否した場合は、選挙管理者にこのチラシを提示してください。それでも選挙管理者が補助者を拒否した場合は、投票所における最高位の管理者に相談してください。または、ホットライン：1-888-API-VOTEまでご連絡ください。



ASIAN AMERICANS  
**ADVANCING  
JUSTICE**  
AAJC

**1-888-API-VOTE:** 投票日に第一言語でのサポートが必要な場合にご連絡ください。  
英語での対話が困難な有権者の投票に関する詳細については、  
[www.advancingjustice-aajc.org/voting-rights](http://www.advancingjustice-aajc.org/voting-rights) をご覧ください。